象牙 過激派の資金源に

アフリカゾウ 年2万頭密猟

中国・タイへ 日本も監視強化急務

絶滅の恐れがあるとしてワシントン条約で国際取引が厳しく規制されているアフリカゾウは、年に二万頭以上が密猟で殺される危機的な状況が続く。自然保護団体は、象牙の密売がアフリカの反政府武装勢力やイスラム過激派の資金源になっていると警告。日本政府もネット通販などで象牙や象牙製品が違法に取引されないよう、監視強化に乗り出した。（嶋田昭浩）

タイの税関当局が押収し、バンコクで公開された象牙（4月27日撮影）＝共同

ワシントン条約　1975年発効の「絶滅の恐れのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」。輸出国と輸入国とが協力して採取・捕獲を抑制し、野生動植物の保護を図るのが狙い。事務局はスイス・ジュネーブ。

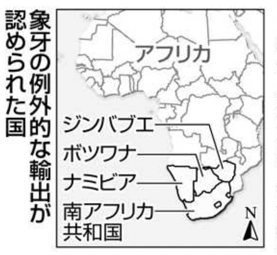
■絶滅危機

「密猟で殺される割合が出生率を上回っており、数の減少が予想される」。ワシントン条約事務局は三月下旬、アフリカ南部ボツワナでの「アフリカゾウ・サミット」で「差し迫った絶滅の脅威」を訴えた。

密猟で殺されるゾウは二〇一一年に推計二万五千頭を超えたのをピークに、やや減少傾向にあるものの年二万頭以上の高水準で推移しているという。

米NPO法人イナフ・プロジェクトは今年一月、コンゴ民主共和国の国立公園での調査を基に「最近はチェーンソーで象牙が切り取られる。ヘリコプターから銃撃される例もあった」と指摘。ウガンダの反政府勢力「神の抵抗軍」が象牙取引で食料や武器弾薬を調達していると非難した。

さらに米自然保護団体ワイルド・エイドはナイジェリアのボコ・ハラムやソマリアのアルシャバーブなどイスラム過激派も密猟で潤っていると指弾する。



象牙の例外的な輸出が認められた国

■消費大国

密輸先はどこか。ワシントン条約常設委員会は、違法取引が懸念される国として中国やタイなどを名指しする。

東京象牙美術工芸協同組合の大熊俊夫理事長（六七）は「中国系とみられるグループが『象牙ある？』とよく聞いてきた。組合員には中国系との取引には応じるなと言っている」。不正輸出に関わらないためだ。

核心

象牙を印鑑や邦楽器の材料に使う日本は、かつて世界最大の象牙消費国だった。しかし、一九八九年のワシントン条約締約国会議で商業取引が原則禁止となり、その後、九九年と〇九年の二回だけ、ボツワナなどから例外的に輸入が認められた。

国内の売買に当たり義務付けられている象牙登録の推移を見ると、輸入のあった〇九年（約三千六百本）を除いて二〇〇〇～一〇年は年数十～数百本規模だったのに、ここ四年間は毎年千数百本ずつの新規登録が続く。だが、経済産業省は「規制前に購入していた象牙を最近、売るために登録したもので、特に問題はない」との見方だ。

印章製品の製造卸会社・モテギ（甲府市）の茂手木寛相談役（六七）も「今、象牙は中国で高く売れるので、日本への密輸はないと思う」と話す。日本では一キロ数万～十万円程度の価格も、中国ではその数倍とされる。

■管理取引

ただ、NPO法人トラ・ゾウ保護基金の坂元雅行弁護士は「中国は経済成長に陰りが出てくると、日本が密輸先になる恐れがある」として、「ネットオークションを含め国内の監視体制を確立しなければならない」と強調する。

一方、ワシントン条約事務局の一員だった金子与止男（よしお）・岩手県立大教授（地球環境）は、一律に商業取引を禁じることに反対だ。「野生動物と共存していくアフリカの地域住民のことを考える必要がある。管理された象牙の取引など、地域住民が野生動物から経済的利益を得られる仕組みをつくらなければ、実効性ある保護も進まない」と主張する。

南シナ海 米中平行線

「埋め立て自制を」「主権守る」

外相会談

【北京＝佐藤大】ケリー米国務長官は十六日、北京で王毅外相と会談した。会談後の共同記者会見で、ケリー氏は中国が南シナ海の南沙（英語名スプラトリー）諸島の岩礁で進める埋め立てに懸念を表明し、中国側に自制を要求。王氏は埋め立ては「完全に中国の主権の範囲内の問題だ」と反発し、南シナ海問題の議論は平行線をたどった。

16日、北京で会談、共同会見後に言葉を交わす米国のケリー国務長官㊧と中国の王毅外相＝佐藤大撮影

米上院外交委員会の公聴会で十三日、南沙諸島で中国が進める埋め立てで、二〇一七～一八年に滑走路が完成する見通しが明らかにされ、会談の最大の焦点となっていた。

会見でケリー氏は「われわれは、中国の南シナ海における埋め立てのペースと規模に関心を持っている」と強調。「緊張を緩和し、外交的な解決を目指す行動を取るよう促す」と王氏に迫ったことを明らかにした。

これに対し、王氏は「中国が自らの主権と領土を守る決意は一貫して揺るがない」とし、南シナ海問題について「直接の当事者国同士で解決すべきだ」とする、これまでの主張を繰り返した。一方で「各方面の懸念に対し、対話を通じて理解を得たい」とも述べた。

ケリー氏は、中国主導で設立準備が進むアジアインフラ投資銀行（AIIB）について「歓迎する」と述べたが「融資などで国際的基準を満たすべきだ。世界銀行やアジア開発銀行（ADB）とも協力してほしい」とクギを刺した。

両氏は、北朝鮮の核問題やイランの核問題で協力していくことで一致。六月にワシントンで開かれる米中戦略・経済対話、九月の習近平国家主席の訪米をめぐっても意見交換した。

ケリー氏は十六日、李克強首相らと会談。十七日には習氏と会談し、あらためて南シナ海問題をめぐる懸念を伝える。

「被爆地訪問を」記述で日中応酬

NPT会議 復活支持10ヵ国

【ニューヨーク＝北島忠輔】国連本部で開かれている核拡散防止条約（NPT）の再検討会議で十五日、最終文書案に対して各国が意見を表明する公開の会合が行われた。日本の佐野利男軍縮大使は「核軍縮の必要性を将来に伝えるには、広島や長崎の訪問が最も効果的な方法だ」と述べ、当初案から削られた世界の指導者や若者に被爆地訪問を要請する文言を戻すよう求めた。十カ国程度が支持を表明したが会合後に配られた文書案に記述はなかった。

被爆地訪問要請は、核兵器の非人道性を世界に広めるために日本が呼びかけ、八日に配られた最終文書の素案には文言が盛り込まれていた。これに中国が「日本は加害の歴史を曲げようとしている」と削除を要求。十二日の修正案では削除され、十四日の再修正案でも記述のないままだった。

会合で佐野大使は「核兵器が非人道的な被害をもたらすという認識は世界に広がりつつあり、記述には多くの国が賛同している」と指摘した。フィリピンの代表は「国連にあるどんな写真や教科書も被爆者の生の声に代わることはできない」と支持を表明、オーストラリアやポーランド、ナイジェリアなども賛成した。

中国の傅聡軍縮大使は「他国の指導者を招くのは自由だが、なぜ日本の提案に疑念を持っている国にまで強制するのか」と反論。記述の復活に強く反対した。

NPT会議は週明けから全体会議でこれまでの議論を集約して、最終文書の作成に向けた交渉に入る。

★TPP首席会合が開幕

日米など環太平洋連携協定（TPP）交渉の参加十二カ国による首席交渉官会合が十六日、米領グアムで始まった。難航している知的財産などの分野を進展させ、政治決着の場となる閣僚会合の開催を目指す。ただ、交渉妥結に不可欠とされる米国の通商法案成立の見通しが立っておらず、交渉が進むかは不透明だ。期間は二十五日まで。

日本からは鶴岡公二首席交渉官が出席。会合に合わせ、知的財産などでは分野ごとの作業部会や、少数国間協議も行われる見通し。

米国のノベリ国務次官（経済・エネルギー・環境担当）は、二十六～二十八日にフィリピンで閣僚会合を開くとの見通しを示している。会場は、首席交渉官会合と同じグアムとする案も浮上している。甘利明TPP担当相は米国の通商法案成立前の大筋合意に否定的な見解を持っており、閣僚会合を開催しても交渉が決着しない可能性もある。

ロシア また打ち上げ失敗

ロケット制御不能、延期

【モスクワ＝共同】ロシア宇宙庁は十六日、カザフスタンのバイコヌール宇宙基地で同日行われたロケット「プロトンM」の打ち上げが失敗したと発表した。発射から四百九十七秒後、地上百六十一キロの地点でエンジンに異常が発生した。

ロシアは四月に無人宇宙船プログレスを載せたロケット打ち上げに失敗したばかり。これに伴い日本人飛行士の油井亀美也（ゆいきみや）さんが搭乗する宇宙船ソユーズの打ち上げも約二カ月延期された。ロシアの宇宙開発は近年、失敗が相次いでいる。

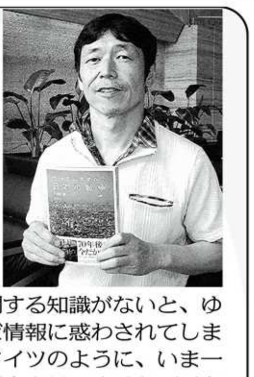
プロトンMはメキシコの通信衛星を搭載。三段目のエンジンの不具合によって制御できなくなった。ロシア東シベリアのザバイカル地方に落下したと一部で報じられたが宇宙庁はロケットや衛星は大気圏で「ほとんど燃え尽きた。残骸の地上墜落は確認していない」としている。今後のプロトンMの打ち上げ計画は延期される見通しとなった。

プロトンMの打ち上げは二〇一三、一四両年にも失敗している。

ロシアは極東アムール州に建設中の「ボストーチヌイ宇宙基地」では資金が横領されたとみられる事件があり、作業員への給与が未払いになる問題も起きた。

この人

「知っていますか？日本の戦争」出版　久保田（くぼた）貢（みつぐ）さん（50）



太平洋戦争に関する出来事をテーマ別に易しく解説した「知っていますか？日本の戦争」を出版した。「これ以上、戦争を遠いものにしてはいけない」と話す。

「話題になったテーマを意識的に取り上げた」。映画などで勇ましく描かれた「特攻」作戦の実情や、「慰安婦問題」など19のテーマでまとめた。全国に残る戦争慰霊碑や平和資料館も自ら足を運び、撮影した。

歴史学を専攻。12年間勤務した名古屋市内の中学高校で平和教育に取り組んだ。2000年から、愛知県立大で教育学を指導する。

戦争への知識がない若者が増えたのが気がかり。名古屋で空襲があったことを知らない学生や、特攻の出撃基地となった「知覧」を知らない若手教員もいた。

「国内外の被害者と向き合う最後の節目」と考える今年。書店には、戦争を賛美したり、反韓・反中を売りにした書籍が幅を利かせる。「戦争に関する知識がないと、ゆがんだ情報に惑わされてしまう。ドイツのように、いま一度、歴史を見つめる必要があるのではないか」との思いを自著に込めた。

（土屋晴康）

苦しみあってこそ人生
曽野綾子の箴言集
二十年にわたる『私日記』より掬い上げた決定版！
人生のほんとうに大切なこと！
曽野綾子
☆1000円＋税
978-4-7593-1423-6

地球で生きている
ヤマザキマリ流人生論
『テルマエ・ロマエ』作者による最新エッセイ
どこへ行っても描くことにしがみつき駆け抜けてきた人生！
ヤマザキマリ
☆1300円＋税
978-4-7593-1427-4

おじいさんになったね
団塊の世代は老人である。実感はないけど。
老化をゴキゲンに楽しむエッセイ33
南伸坊
☆1400円＋税
978-4-7593-1425-0

わたしの明日が変わる！
アドラーの知恵
一歩が踏み出せないあなたへ
今すぐ生かせる実践の心理学
アドラー思想の決定版
過去と他人は変えることができないけど未来と自分は変えられる。
星一郎
☆1300円＋税
978-4-7593-1407-6

ほんとうに70代は面白い
テレビ朝日『徹子の部屋』出演！
大好評10刷！
聡明な女は素敵に老いる
桐島洋子
☆1300円＋税
978-4-7593-1414-4

今後の安全保障論議に向けて読んでおきたい。
いちばんよくわかる集団的自衛権　2刷
佐瀬昌盛
いちばんよくわかる！憲法第9条
西修
戦後70年の節目、日本国民が知っておくべきこと。
☆1500円＋税　978-4-7593-1422-9
☆1400円＋税　978-4-7593-1377-2

海竜社
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15　http://www.kairyusha.co.jp
Tel.03(3542)9671 Fax.03(3541)5484
お近くに書店がない場合は「ブックサービス」☎0120-29-9625へご注文下さい。
愛とこころの図書館

祥伝社文庫30周年
南極風
笹本稜平
『新田次郎の次の山岳小説は笹本稜平で間違いなし！』（書泉グランデ・星野潔氏）
■本体790円＋税
978-4-396-34117-6
奇跡の生還を果たした英雄から殺人容疑者へ――。
ニュージーランドの名峰アスパイアリングに、
鎮魂と再生の祈りが谺（こだま）する
愛と希望の感動作！

シリーズ累計130万部突破！
風烈廻り与力・青柳剣一郎
真（まこと）の雨　上　下
小杉健治
本当の忠義とは何か!?
武士の生き様がここに。
野望に燃える藩主と、度重なる借金に疲弊する藩士。どちらを守るべきか苦悩した家老の決意は――。
（上）978-4-396-34118-3
（下）978-4-396-34119-0
■本体各640円＋税
装画／浅野隆広

話題の文芸書
ヒポクラテスの誓い
中山七里
死者の声なき声を聞く
迫真の法医学ミステリー！
凍死、事故死、病死……何の事件性もない遺体から偏屈な老法医学者と若き女性研修医が導き出した真相とは!?
978-4-396-63467-4 ■四六判ハードカバー／本体1600円＋税
装画／遠藤拓人

狼のようなイルマ
結城充考
圧倒的緊張感と乾ききった世界観で描く警察小説！
標的は絶対に逃さない！検挙率NO.1の獰猛な女刑事登場。
978-4-396-63468-1 ■四六判ハードカバー／本体1600円＋税

NON NOVEL
十津川警部
裏切りの駅
西村京太郎
シリーズ最新作！
無人駅で目撃された奇妙な人物
誤認逮捕か、アリバイ工作か!?
十津川警部、〝ミスキャンパス殺人事件〟に挑む！
978-4-396-21022-9 ■ノベルス判／本体830円＋税

祥伝社　5月の最新刊
〒101-8701 東京都千代田区神田神保町3-3　TEL.03(3265)2081 FAX.03(3265)9786　祥伝社ホームページ http://www.shodensha.co.jp/